

=三郷市国際交流協会 会長高野 力 頭元年 5月5日付

1. 令和の年号に思ひを馳せて!*

*平成の30年が幕を閉じ新しい年号「令和」がスタートして
2週間が過ぎました。

国文学者 中西 進氏



「令和」について話す中西進さん

。新元号を考察したとされている
中西進氏(ゆうわ)

→元号の根柢にあるのは承
「日本」であり「和の心」は
和をもて貴しとせよを
思い浮かべる。

(17条憲法の精神が流れて
いるとの考え方を明らかにした)

→元号のつくる字は歴史上20回
重使われている事からその
意味が重んじられている事が
よくわかる。

。600年に聖徳太子が用いた17条
憲法の「平和精神」と重複
「和の心」は万葉の精神にも
流れ平和憲法につながる
ものだとしている。

* 平成の30年間は戦争から無かった時代であったが、

自然災害が多く発生し特に2011年に発生した東日本大震
災は毎年のニュースや報道で走っているからなお灾難生活を
痛められている人が何万人と多くいる状況である。
一日も早い復興を願っている人々である。

* 我たちの国際交流協会も平成14年に新年1年目を
迎えている。過去の歴史をひもとくとそこには先輩たち
のたゆみの無い足跡を見る事が出来る。新年号「令和」
(領は善いことを意味する。和はおだやかなこと仲よさること)
(あやめてより一層国際交流を推進していく所へと考えています)

片道1時間半 働きながら



教室で同級生と談笑するナベダ
さん（左）（17日、川口市で）

*ナベダさんは才の父と
一緒にペルーから来日。
→中学生の時からじめられて
不登校になら。
①インターネットで知り合った友人
は大学や高校進学に手
してくれなくなら。

②両親友働きでいい。
日本語も苦手。
日本に行かがむづかくて
ついていけなくなら。

ナベダ、ヤハスチャンシイ
ペルー

→カツリースタドで働ける
(収入費を自分で)

*夢 ... 業後は専門学校で日本語を学びたい。
(日本特有の言葉を身につけたい)

*磯井こさん ... 小さより不登校に中止へ行きなから
・割り勘か計算でない。(友達と食事)
・自分と業手で書けない。
・買物で金額がいくらか分からずバカにされた。

「免責すれば、もとと自信がつき者未だりたい」とも思って
くるかも知れない。(入学式明るくで何事にも燃える)

外回りを見て自分が持っていた堅苦しい学校の印象が変わった

- 3
10日(金) 外回り見学会議会 打合せ 講堂室 PM 12:00
- 12日(日) 三年市町村文化交流会、総選挙会、講堂室 多目的室
- 15日(水) 交流部会、講堂室 PM 19:00 (11.30~)
- 20日(月) 市民まつり実行委員会 商工会館 PM 19:00~
- 22日(水) 交流部会、講堂室 PM 19:00~

<夜点の1> 外回り人業との業をより一層深めていく。

<夜点の2> 日本の伝統文化を大切にする。

<夜点の3> 近隣の市町村同業交流会の業の交流を深める。